

中学校

c2-4

同位角と錯角

2学年

【ねらい】

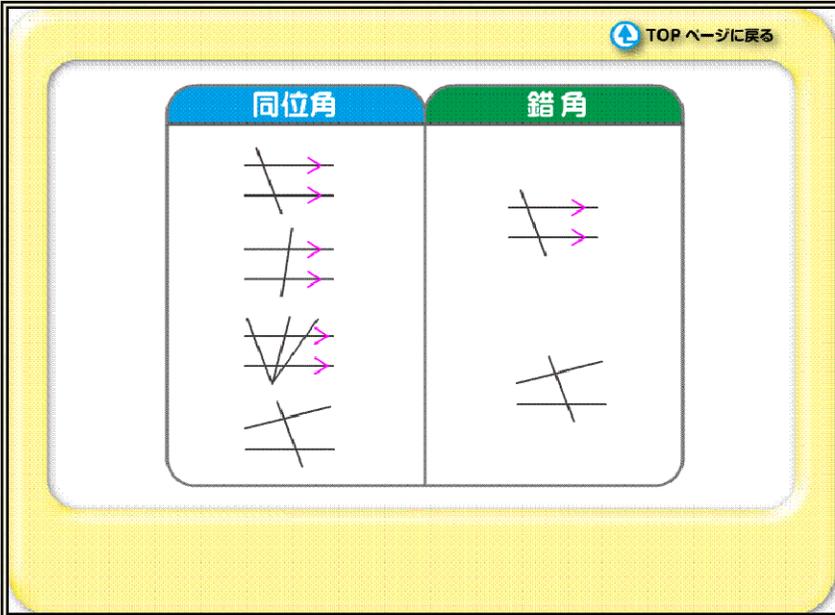
平行線の性質として同位角と錯角について理解する。

【特徴】

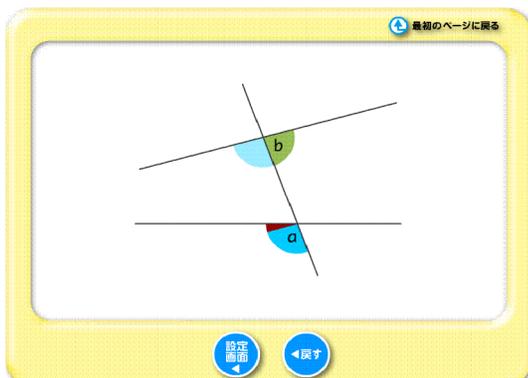
- ◇ 同位角と錯角の位置関係をわかりやすく表示します。
- ◇ 平行線上での特徴を理解するのに役立ちます。

【関連する単元】

- ◇ 中学3年「図形の相似」
- ◇ 中学3年「三平方の定理」

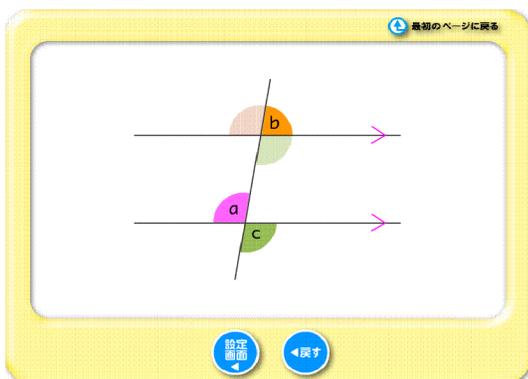


【活用場面】 導入段階の課題提示、知識・技能の定着



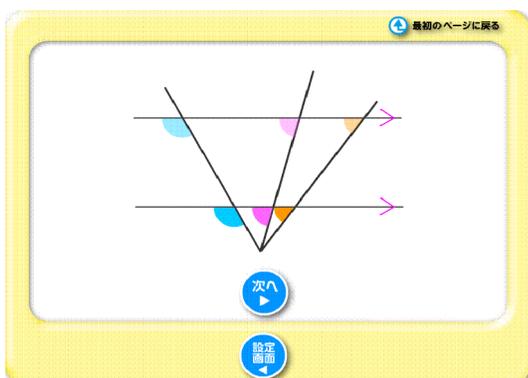
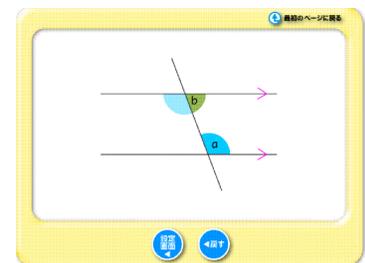
同位角、錯角の位置関係の理解を定着させます

- ◇ 2直線に別の直線が交わったときにできる8つの角の位置関係を示すための用語が「同位角」、「錯角」であることを確認します。
- ◇ 元の2直線が平行でない限り、同位角や錯角の大きさは等しくないことを画面で確認することができます。
- ◇ 逆に、「同位角や錯角が等しくなれば、2直線は平行である」といえることを図から確かめることができます。



平行線の性質として、同位角や錯角の大きさが等しいことの意味を理解することができます

- ◇ 角をクリックすることで、位置関係を明確に表示します。
- ◇ 平行線では、8個ある角のうち4個ずつが同じ大きさになることを確認します。
- ◇ 対頂角が等しい意味も再度確認することができます。



平行線である場合とそうでない場合とで同位角の大きさを比較し理解を深めることができます

- ◇ 実測する活動も取り入れるなどして同位角の性質を捉えます。
- ◇ 平行線である場合とそうでない場合とで、同位角の大きさを比較し理解を深めることができます。
- ◇ 「三角形の内角の和」や「図形の相似」などにも広がりを持つので、根拠を明らかにして、それを基にして筋道を立てて説明できるようにする習慣を築いていきます。